

## ■ 現状と課題

- ・ 地域では様々な個人や自主活動グループが、地域課題解決のために主体的に活動をしています。しかし個々の活動だけでは解決できない複合的な課題に対して、連携・協働できる場づくりが求められています。
- ・ 福祉制度の充実により、相談・支援の仕組みは、次第に整ってきましたが、相談につながらなかったり、既存の制度だけでは対応が難しいことがあります。住民同士や関係機関が課題を共有し、解決に向けて柔軟に対応できるような地域づくりが必要です。
- ・ 生きづらさを抱えた人が、孤立や生活困窮、家庭環境等を背景に、法に触れてしまったり、犯罪に巻き込まれてしまうことがあります。関係機関が中心となって、地域で支える仕組みを考えていく必要があります。

## ■ 地域での取り組み

- ・ 身近な困りごとを発信し、解決に向けて地域の仲間と一緒に考えます。  
また、関係機関や練馬区社協につなぐなどして、課題の共有に取り組みます。
- ・ 活動分野が異なっても、地域の団体同士が、共通する課題に対してゆるやかにつながり、困っている人一人ひとりを共に支え合える仕組みを作ります。

## ■ 練馬区社協の取り組み

- ・ 個別の課題を地域課題と捉え、分野を超えて地域住民や関係団体・機関等と連携できる地域のネットワークづくりに取り組みます。
- ・ 地域での触法予防ネットワークを推進するとともに、練馬区との連携を強化します。
- ・ 地域福祉コーディネーターが、地域で活動する団体や人々と思いを共有し、誰もが安心して暮らすことのできる地域について一緒に考え、様々な活動の支援を進めます。
- ・ ねりま社会福祉法人等のネットや関係団体などと共に、情報交換や連携できる場づくりを強化し、様々な地域課題を解決するための仕組みづくりを進めます。

目指す姿

今日的な課題に関心を持ち  
共有できる場がある



地域でこんな取り組みが広がっています

# 住み慣れた地域で暮らし続ける

## ～ねりま☆共生フォーラム～

生きづらさを抱えた人が法に触れてしまうことや犯罪に巻き込まれてしまうことがあります。その結果、周囲から受け入れられず住み慣れた地域で暮らし続けることができなくなったり、時に加害者として司法の枠組みで裁かれ、地域生活を取り戻す困難さを抱えることがあります。

そういった社会課題の解決に向けて、練馬区社協では平成30年から地域の関係者と勉強会や情報交換を定期的に行ってきました。現在、福祉関係者、保護司、弁護士等の様々な立場の関係者が参加し、生きづらさを抱えた人が、地域の理解や適切なサポートの下で地域生活を取り戻せるよう、区内でのネットワーク構築を目指し、活動しています。



### 相談できる人の幅が広がる。つながるって大事です！

保護司活動の中で法を犯し更生を目指す人とたくさん出会ってきました。話をしていると、その多くの人が小学校・中学校で必要な知識を得たり、先生や友だちとの関わりを通して社会性を育むことなく、孤立していたことに気づきました。問いをもつ・考える・工夫する・対話する・相談するという経験が圧倒的に不足しているのです。現在は小学校での教員の経験を生かし、練馬区社協とも連携しながら地域での学習支援の活動にも取り組んでいます。

保護司や学習支援の活動も続けている限り悩むことはありますが、分野を超えたネットワークを広げていると相談できる人の幅が広がります。ねりま☆共生フォーラムに参加する度に「つながる」ことの大事さを実感しています。

今後はネットワークの線を太くして具体的な問題解決の見通しが地域にも見えるようにできると良いと思います。



保護司  
石井さん

### 新しい情報をキャッチできる場所は貴重です！

保護司になって11年ですが、それ以前から現在に至るまで団地の管理組合や民生・児童委員など、地域活動に取り組んでいます。高齢者の見守り声掛け、少年非行の防止活動、地域包括支援センターとの勉強会など、様々な活動を通じて地域とのつながりを強めていくよう努めています。中には支援を受け入れようとしない人もいますが、地道に続けていると逆に相談されることも増えてきました。

保護司活動で一番残念に思うのは、保護観察が終了してすぐに再犯してしまう方がいることです。依存症など病気を抱える方が多いのも一因ですが、保護観察中にもその兆しを感じることもありますので、保護観察終了後も継続的なフォローをすることが大事なのかと思います。練馬区社協から声がかかり、ねりま☆共生フォーラムで色々な立場の方と出会えましたし、何かと勉強になりました。今後も間口を広げ地域とつながっていきたいです。



保護司  
二葉さん

#### 更生保護を支える人たち

更生保護は国の機関だけではなく、地域の様々な方の理解と協力が不可欠です。

保護司（保護観察官と共に立ち直りを支える民間ボランティア）や民間の更生保護施設、青年ボランティア団体、協力雇用主（雇用を通じて、自立や社会復帰に協力する民間の事業主）など、地域で支える活動の広がりが必要とされています。

#### 再犯防止推進計画

犯罪をした人が抱える課題を社会全体で解消することで、その立ち直りを支援し、犯罪や非行の繰り返しをなくしていく再犯防止の取組が求められています。国が策定した再犯防止推進計画にもとづき都道府県、市区町村単位での計画策定が進められています。練馬区は令和7年度からの地域福祉計画に含める形で策定されます。



# ～ネットワークでつながり、広がる～

こどもも若者も大人も  
つながる つなぐ  
民間団体ネットワーク



**こまねり**  
こどもまんなかネット  
ねりま

**は、団体の  
こんな声から  
生まれました!**



「こどもまんなか  
ネットねりま」の  
サイトはこちら

| 居場所を作りたい                       | 情報を伝えたい                         | 団体同士でつながりたい                            |
|--------------------------------|---------------------------------|--|
| 子どもが自分で行ける範囲に色んな居場所がもっとあればいいな。 | 居場所を必要としている子どもや保護者にもっと情報を届けたいな。 | 1団体の力だけでは、複雑な事情を抱える子どもの課題を解決することが難しいな。 |

## 共通の思いがネットワークに

令和4年9月、子どもの居場所がテーマの映画上映会を企画した団体同士が、連携を呼びかけ、民間団体ネットワーク「こまねり」が立ち上がりました。令和7年3月現在、70団体と関係機関が参加、活動しています。個々の団体のテーマや活動内容は様々ですが、子どもの声に耳を傾け、一人ひとりの気持ちに寄り添う姿勢は同じです。1つ1つの団体は小さくても、つながり、協力することで、子どもたちへ伝える力も大きくなると考えています。

### 「すべてのこどもに居場所がある練馬に」を合言葉に様々な活動をしています



- 居場所の立上げ支援・広報
- 講演会などイベントの実施
- 支援団体の連絡会を実施
- 居場所でボランティアしたい方や寄付を募る
- ホームページ、居場所マップの作成
- 共通課題の勉強会の実施
- 個別ケースについて複数の団体・機関が連携した支援

### 他にも仲間がいっぱい

#### [ プレーパーク ]

練馬に昔からあるみどりを活かしてつくられた冒険遊び場です。

#### [ 不登校 ]

「学校に行かない選択」をした子のための多様な学びの場です。

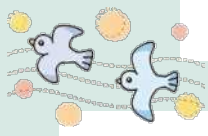
#### [ 体験 ]

「子どもたちのやりたいことを実現する!」をモットーに、子ども主体で活動しています。



## 私たちが「こまねり」メンバーです ～参加団体からメッセージ～

**石神井・小さなうち**では、学校へ行かない選択をしている子どもたちの居場所と地域の居場所活動を行っています。家と学校以外の居場所は、子どもにとっても保護者にとっても必要であると感じています。民間の居場所は、必要としている人だけではなく、学校や関係機関にも情報が届きにくい、ということに課題を感じています。子ども関係の活動をしている民間団体が、たくさんあることを知ってもらい、各団体や関係機関とつながりを作り、それぞれの強みを活かしたり、困っていることを共有しながら、子どもたちが安心できる居場所のネットワークを広げていければ、と思います。(代表 長谷部さん)



**なゆたふらっと**では、不登校児の居場所やこども食堂を実施しています。活動の中で課題に感じていることとして、利用されている方の中には、一步を踏み出すことが難しく利用が長期化する傾向がある方もいる、ということが挙げられます。本人が自分で考え、「自分はこれでいい」と思える、自分にOKをだせるようになってほしいと思います。一方で、なゆたふらっとを卒業した方は新たな環境でつながりができている方もいるので、そうした様子を知ると嬉しく思います。また、普段接点のない人や団体とつながる場も必要と感じます。(代表 鈴木さん)



**I am OKの会**は、練馬区社会福祉協議会の後押しを得て2004年に生まれました。発達障害のある子ども支援と保護者を支援することを目的とし、生涯にわたって、切れ目のない支援をめざしています。当初は発達障害を持つ子どもについてご家庭での工夫を集めることから活動を始めました。また現在では、児童発達支援事業とともに、所属する園や小学校を訪問し、養育環境や教育環境等について先生方と意見交換し、改善する活動(保育所等訪問支援事業)に力を入れています。また、親御さんには安心して話ができる支援者(ペアレントメンター)のいる居場所を提供しています。つながり合うことで、助け合えることを実感していただけたと思います。(代表 林田さん)

#### [ 居場所 ]

赤ちゃんからシニア世代まで自由に過ごし、ホッとできる地域の寄り合い所です。

大学生による活動です。子どもたちがありのままに居場所を目指しています。

#### [ 学習支援 ]

「楽しく勉強をしたい」「ワイワイ皆でお話したい」学校の宿題をボランティアがお手伝いします。

#### [ 発達・障害 ]

うちの子ちょっと個性的かな?!と感じる保護者の方、一緒にゆつくりおしゃべりしましょう。

#### [ 子育て支援 ]

練馬の子育てを孤独な孤育てにしないよう子育て世代も支援者も団体も一緒に活動しましょう。